

第2次 栃木市総合計画

基本構想

令和5(2023)年度▶令和14(2032)年度

基本計画

令和5(2023)年度▶令和9(2027)年度

栃木県栃木市





豊かな自然と共生し

優しさと強さが調和した

活力あふれる栃木市

本市は、平成26年に1市5町との合併が完了し、新しい「栃木市」のまちづくりの指針として「栃木市総合計画」を策定し、基本構想に掲げた将来都市像「“自然”“歴史”“文化”が息づき“みんな”が笑顔のあったか栃木市」の実現に向けて、各種施策の推進を図ってまいりました。

そのような中、2度の大きな水害が発生し、市民生活に大きな打撃を受けたことから、災害からの復旧・復興や災害に強いまちづくりを進めてまいりましたが、令和2年からは、新型コロナウイルス感染症の世界的なまん延により、感染拡大の防止やワクチン接種、事業者や市民生活への支援等の対策にも努めてまいりました。

このように、新たな変化や不測の事態に対応しつつ、自立した自治体経営を目指すため、令和3年度から2か年かけて、新たな本市の将来都市像や、その実現に向けた前期5年間の基本計画について、検討してまいりました。

今回策定した第2次栃木市総合計画は、基本構想の将来都市像に「豊かな自然と共生し優しさと強さが調和した活力あふれる栃木市」を掲げ、災害に強いまちづくりに重点を置くとともに、妊娠出産から子育て期までの切れ目のない支援や、誰もが健康で安心して生活できる支援体制の充実、脱炭素社会や環境負荷の少ない循環型社会の構築、生涯を通して学び活躍することのできる環境整備、地域資源等を生かした産業振興、市民協働やデジタル化を踏まえた効果的・効率的な行財政運営などを推進することにより、市民の皆様にとって夢や希望が叶えられる本市の基盤になるものいたしました。

計画の推進にあたっては、市民の皆様や市内の企業、各種団体等と連携しながら着実に実行していくとともに、本市の行政評価システムにより評価・検証し、改善等を図ってまいります。

結びに、本計画の策定にあたり、熱心にご議論いただきました栃木市総合計画策定懇談会の皆様をはじめ、貴重なご意見をいただきました皆様に心より感謝申し上げますとともに、引き続き、ご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和5年3月

栃木市長 大川 秀子